

## SSH事業「東京実習」2日目「東京大学」

2日目は、3コースに分かれ、10名が東京大学を訪問しました。午前中は、航空宇宙工学専・中須賀真一先生の研究室、午後は地球惑星科学専攻・對比地孝亘先生の研究室を訪問しました。

中須賀先生には、昨年度の本校SSH事業「さいえんすたうん」における全体講演でも、お世話になりました。今回は、超小型衛星の開発について講義をしていただきました。学生主体のプロジェクト内容や研究開発現場の具体的なお話について、食い入るように聞き、質問する姿が見られました。また、学ぶ姿勢や考え方についてのメッセージを伝えていただき、大きく心を揺さぶられたようです。

對比地研究室では、本校理数科OBで現在、大学院修士課程1年の石川弘樹さんに古生物学について講義をしていただきました。また、OBとの交流と題して、大学生活や高校時代について、学習の方法等について、さまざまな質問ができました。ひとつひとつ丁寧に答えていただき、クラスのあり方・学習方法を振り返る絶好の機会となりました。

本校のSSH事業を通じて学んだ生徒が、今度は生徒を招き入れる側になってくれたことに大きな喜びを感じています。今後も、卒業生とのネットワークを大切にしていきたいと思えます。なお、午前中のキャンパス散策時には、同じく理数科OBの遠藤正陽さんが同行してくださいました。

### <生徒の感想より>

中須賀先生のおっしゃることはすべて、ある限られた場面でのみ必要ということではなく、生きていくうえで大事なことである。自分の成長のためにも、それを身につけていきたい。

石川さんの「自分の好きなことを見つけた方がいい。そうじゃないと生きている意味がなくなるからね」という言葉を聞いて、自分は本当に何をしたいのか、そのためにどうするべきなのかを考えるヒントを得られたように思います。

